

項目名	入浴等
表題	3回/週入浴と日中着をとりいれメリハリのある療養生活を快適に過ごす
施設名	西条愛寿会病院（介護療養型医療施設）

1 取り組みを始めた経緯、きっかけ

3回/週の入浴に取り組んで

当施設の入浴設備は展望浴槽1ヶ所、機械浴槽2ヶ所、一般浴槽5ヶ所あり2回/週の入浴を行っていた。患者から「入浴回数を増やして欲しい」と要望があり、入浴検討会を設置しました。看護師や介護員の業務の見直しと改善を行いADL別に3回/週の入浴が可能となった。

日中着に取り組んで

毎日のレクリエーションと体操、2回/週のお茶会、季節ごとの行事と日々活動的な生活を過ごしているが、多くの患者は寝間着やパジャマで参加しています。そのために昼夜の区別がわかりにくい、生活にメリハリがなく過ごしている患者もいた。H13.9月から計画し、H13.11月より実施しました。

2 取り組みを行った成果

「入浴を楽しみに待っています。」「お風呂に入った日の夜はよく眠れる。」「身体があったまって気持ちがいい」「指がよく動く」と1回増やしたことによって精神的や身体的な変化があった。日中着を持参している患者が少なかったため、患者や家族に説明を行い、理解してもらった。着替えるようになってから「今日はどんな服にしようか?」とおしゃれを楽しんでいる。3回/週の入浴の影響もあって「着替える」ことが日常の生活行動になった。洋服の色彩が活気をもり立てている。

3 拘束に至った経過や原因と考えられるもの

（評価）

日中着の取り組みによってスタッフの意識の改革（やれば出来る）ができた。今では約8割の患者が日中着で活動に参加しておられ、生活にメリハリができ表情も豊かになりました。活動する時間が長くなり、活動内容も増えベッドで過ごす患者が少なくなった。

（今後の取り組み）

楽しんでいただけるレクリエーションの研究・当院の身体拘束廃止委員会は各職種が参加していますのでこれからも専門的な意見を聞きながらキュアとケアについての方法を考えていく。精神的にも身体的にも快適な療養生活が営まれるよう個人の問題点を把握し望まれるケアができるように、勉強会を開催し又研修会や学会に参加しながら知識や技術を覚えていきたい。（現在は摂食と嚥下について勉強中。）